

平成 28 年度

## 第 68 回 上伊那教育会 夏期講習

7 月 28 日（木）・29 日（金） 上伊那教育会 講堂

テキスト

西田哲学選集第一巻

『西田幾多郎による西田哲学入門』

第二部「善の研究」

第一章「純粹経験」第二章「思惟」第三章「意志」

第四章「知的直観」

講 師

京都工芸繊維大学大学院 教授 秋富 克哉 先生

【開講式から】

柄澤 克彦 運営委員長挨拶（抜粋）

この講習会に向けて、元高遠中学校長唐澤正吉先生のご指導、ご助言のもと 4 回にわたって、先生方と事前の読み合わせ会を進めてまいりました。テキストを読み合わせてきましたが難解でした。しかし、哲学と普段の児童生徒との生活を関連させ、日々の教育実践にどのように役立てていくか考えることができ、有意義な研修になりました。夏期講習でも、担任する児童生徒のために学びたいと思っています。講師の秋富先生、唐澤先生、小林教育会長先生には夏期講習会開催に際しましてご指導、ご鞭撻をいただきました。ありがとうございました。

1 日目（28 日）日程

開講式 8:50～ 9:10

討議 9:15～16:45

2 日目（29 日）日程

討議・まとめ 9:00～11:30

講演会 12:50～14:30

開講式 14:30～14:50



小林 克彦 教育会長挨拶（抜粋）

今年も哲学講習会の夏がやってきました。昭和 24 年、若い教師たちによって始められた飯島町西岸寺で行われた西岸寺講習にさきのぼります。郡下の青年教師が企画から運営までいっさいを担って行われたということです。その伝統を受け継いで公益社団法人となった今も上伊那教育会の根幹をなす職能研修事業として行われています。この哲学研修は自分自身を開示する営みに大きな成果を感じています。この 2 日間、先生方それぞれ子どもと向き合う自分自身を見つめ、自分のありようを問い直す、まさに哲学をする時間になると思います。

討議する参加者の皆さん



哲学研修を運営して下さった先生方



## 参加した先生方の感想

○今まで、子どもたちを「みる」という事実はわかっていたけれど、この会に毎回参加することで「みかた」が変わってきたと感じました。今回私は生まれて初めて哲学に触れましたが、毎回の読み合わせで新たな発見がありました。グループ討議では皆でひとつの疑問に取り組むなど有益な時間でした。また、唐澤正吉先生には哲学での考え、観方を教育現場で例え、わかりやすく教えていただき大変有難かったです。学級経営に大いに役立ちました。当日も様々な先生方の考え方を聞いて自分の知見が広がったように思います。自分にとって大収穫の一日でした。



## 秋富先生 講演会

演題 「十牛図」 自己探求の道



講師 秋富 克哉 先生



講師紹介 飯澤 隆 研修部長



### 講演を聴かれた先生方の感想

- 「十牛図」の禅的世界観についてお聞きし、はじめのうち難解でしたが六、七と進むにつれて少しわかったように思います。七、八へなぜ進まなければならないかは、自己探求に完成形はないからということかたと考えました。生きている限り探求は続くというのは純粹経験での大なる統一を同様に、人間が如何様にも大きくなっていけるという可能性を示していると思いました。人間の持つ力、可能性を信じている心が根本にあるのではと感じました。
- 「十牛図」の禅的に解釈されたことをお聞きして、人の生き方を、また自分が今どの段階にいるのだろうと自己を見つめる機会をいただきました。常日頃、忙しさ、目の前のことをすることばかりにいて、追われているような気持ちでいます。今日のように落ち着いた日(心もち)に、図を見ながら考える時間を得ました。秋富先生の向上の道は「どの道(段階)にもあり」「留まる」ならず「墮落」もあるという話、しみじみ考えました・
- 「真の自己」とは何か。まだまだ理解しきれない部分がありますが、秋富先生の話をお聴くことで多少なりとも自分の中で理解に近づいたように感じます。子どもたちと関わる中で常に自分に問いかけ続けることが真の自己へとつながっていくのかなと思います。もう一度、西田哲学と教育について考えてみたいと思いました。